

「中欧の詩学」

～ハンガリーの作家エステルハージ・ペーテルをむかえて～

日時： 2月8日（日）13：00 から 17：30

場所： 大阪大学豊中キャンパス 21世紀懐徳堂多目的スタジオ（イ号館2階）

プログラム

《第一部》13：00-14：15

シンポジウムについて（三谷研爾・大阪大学）

エステルハージ来日記念プログラム（通訳あり）

作家紹介（Viktoria Eschbach=Szabo・チュービンゲン大学）

作家による自作朗読（『ハーン=ハーン伯爵夫人のまなざし』より）

記念講演：ハミュダ・トライアングル-21世紀の言語について

《第二部》14：30-16：00

【ハンガリー】 中欧をめぐる奇想の書、『ハーン=ハーン伯爵夫人のまなざし』を訳して（早稲田みか・大阪大学）

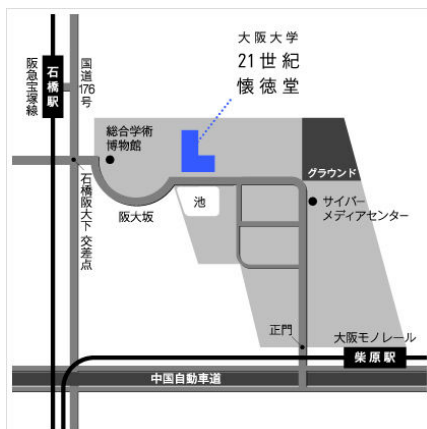
【チェコ】 ポフミル・フラバルとチェコの「笑い」-「運命の被支配者」の詩学（石川達夫・神戸大学）

【ユーゴ】 抒情とアイロニーの化合物-ダニロ・キシユと中欧（奥彩子・大阪大学）

《第三部》16：15-17：30

講演：中欧文学の「地詩学」（沼野充義・東京大学）

総合討論～エステルハージを囲んで



大阪大学アクセスマップ <http://www.osaka-u.ac.jp/jp/accessmap.html>

キャンパスマップ <http://www.osaka-u.ac.jp/jp/annai/about/map/toyonaka.html>

エステルハージ・ペーテル

Esterházy Péter (1950-)

現代ハンガリーを代表する作家。ハンガリーの名門大貴族エステルハージ家の末裔。第二次世界大戦後にハンガリーで共産主義政権が成立すると、ペーテルの一家は財産を没収され、数年間、地方に強制移住させられた。20代中ごろから小説を書き始め、『生産小説』（1979）が、そのポストモダンのスタイルによって賛否両論の反響を呼びおこし、一躍、作家としての地位を確立した（『ハーン=ハーン伯爵夫人のまなざし』著者紹介文より）。邦訳に、『黄金のブダペスト』（ハンガリー文芸クラブ編・訳、未知谷、2000）、『ハーン=ハーン伯爵夫人のまなざし-ドナウを下って-』（早稲田みか訳、松籟社、2008）。



お問合せ先：

大阪大学人間科学研究科 GCOE 事務局

Mail: gcoejimu@hus.osaka-u.ac.jp

Tel: 06-6879-4046